

## 地震時における軟弱基礎地盤の振動性状に関する 現場実験研究 (第2報)

### Field Experiments on the Properties of Vibration of Soft Ground at the Time of an Earthquake (Report II)

#### まえがき

昭和41年度は台風による洪水で橋の建設にも被害を生じ、工程上支障を生じたようであるが、幸い関係者の尽力により実験用橋脚も無事完成し、起振機や人工地震による実験を行ないえた。人工地震による実際の軟弱地盤の土質力学的ならびに振動論的研究は、ごく最近手をそめられたばかりであるので、実験の計画にも解析にも種々の検討を終始加えつつ進められている。ここに、P波による構造の解析とS波による実験の一部がまとめられたので第2報として報告する(第1報は総合研究速報Ⅵ6)

この研究に当り、種々の便宜を賜った建設省利根川下流工事々務所、茨城県土木部、千葉県土木部、農林部、成田市役所の方々に深く感謝します。また、実験のため協力をいただいた大豊建設KKおよび北総酪農の方々にも感謝します。また多忙なかこの研究を協同研究として進めるため協力をいただいている建設省土木研究所と工業技術院地質調査所の関係者ならびにまったく新しい方法を理解しつつ実験を行ないえた宇部興産KKの関係者に謝意を表します。

なお、当研究の総合推進は当センターで行なったが、その担当者は第2研究部長丸山文行、同部地震防災研究室長高橋博、同研究室研究員高橋末雄、鈴木宏芳である。

また、当所で刊行した地震防災に関係した研究報告類としては、この報告は第9冊目(既刊:研究速報Ⅵ1, Ⅵ5, Ⅵ6, 研究資料Ⅵ1, 総合研究報告Ⅵ11, Ⅵ12, 総合研究速報Ⅵ5, Ⅵ6, 既刊目録参照)に当る。